

山口県立大学社会福祉学部 社会福祉学会

Newsletter



山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

発行/山口県立大学社会福祉学部社会福祉学会
〒753-8502 山口市桜島3-2-1 TEL:083-928-4783 FAX:083-928-3547
印刷/株式会社山口県農協印刷



山口県立大学社会福祉学会 設立20年の節目に思う

社会福祉学会長 横山 正博

2017年は、本学部が開設されて23年になります。卒業生も、約1,800人となり、全国各地、また海外で活躍されておられることと思います。山口県立大学社会福祉学会は、「会員の協力により、社会福祉に関する研究を推進すること」を目的とし、平成9年に設立されました。

設立以来、毎年社会福祉セミナーを開催し、卒業生を中心に運営されてきました。仕事をしながら献身的に運営に携わっていただいた卒業生のみならず、この場を借りてお礼申し上げたいと思います。特に、ここ数年、幹事長は卒業生になっていただき、また各期卒業生の幹事をもとに、強力な推進エンジンとして社会福祉セミナーが運営されたことは、本学会の大きな成果といえます。

一方、本学会も20年の節目を迎えて、いくつかの課題も見えてきました。第一に、本学会の活動の一つの柱である社会福祉セミナーにおいて、卒業10期生以前の方、県外在住の方の参加が少なくなってきたことです。ある意味やむを得ないことですが、ぜひとも時には本学部にも思いをはせ、同窓会もかねて参集していただきたいと思います。県外在住の方には、それぞれの地域で支部を立ち上げ、そこを拠点に旧交を温めつつ、研究・研修の場を確保するの、一つの方法だと思っております。もし、そのようなニーズがあるのであれば、学部でも全面協力したいと思っております。

第二に、在学生も会員となっていることから、さらに在学生の参加が期待されるところです。これまで社会福祉セミナー企画のjobカフェなどを通じて、在学生の参加の機会も設けてきました。これまで以上に、在学生には本学会の会員という自覚をもって、社会福祉セミナー等を通じて、卒業生との交流の場や学習の機会となることを願っています。

第三に、本学会は自前の予算で運営されています。今しばらくは、諸活動の費用は賅われていくと思いますが、近い将来に財政的に不安定な状況になっていくことが推測されます。この財源確保に向けた対策を今後講じていく必要があると思っております。

最後に、課題ではありませんが、学部開設以来現在もなおご在職の先生は、加登田恵子先生、数本知二先生、草平武志先生となりました。本学部、本学会を支えてこられた諸先生方にも、ぜひとも本学会にご支援を賜ることも、万障繰り合わせて社会福祉セミナーにご参加いただき、本学部、本学会が培ってきた伝統を継承する機会となれば幸甚です。



山口県立大学社会福祉学会

平成28年8月6日(土)に第18回山口県立大学社会福祉学会
社会福祉学会総会および社会福祉セミナーを開催しました。

第1部 シンポジウム

よりよい職場の人間関係構築と
充実ある仕事に向けて
「ストレスやばい!」を
改善しよう!

今年度のシンポジウムは「よりよい職場の人間関係構築と充実ある仕事に向けて」をテーマに、宮崎まさ江准教授をコーディネーターとして開催されました。

新人の立場として、18期生の阿部さんからは、多職種と意見の擦り合わせをするなかで、誰のために行っている支援なのかを思い返し、組織の方針とシーシャルワーカーとしての自分の思いについて、どのように折り合いをつけるかという悩みをお話しいただきました。

中堅の立場として、15期生の高津さんからは、組織から求められることと対し、自分の支援の進め方について抱えている疑問をテーマに、経験を積んで仕事に余裕が生まれる反面、専門職として自分を磨く意識を持つことの必要性を感じているとお話をいただきました。

ベテランの立場として、4期生の小寺さんからは、組織運営や人材育成の視点で、職員一人ひとりのモチベーションを維持するためのサイクルを、管理者としてどのように職場

に定着していきけるかという課題を挙げていただきました。

今回のシンポジウムは、経験年数が異なる人たちの考え方について共有する貴重な機会となりました。同じ社会福祉学部の卒業生があらゆる現場で活躍し、シレンマを抱えながらも乗り越えていこうとされる姿勢はとても良い刺激になりました。

15期生 中野 愛美



第2部 第1分科会

帰る頃には元気が出るはず
「同窓生スーパージョン」

第1分科会は「帰る頃には元気が出るはず」同窓生スーパージョン」をテーマに、増田公香先生を講師に迎えて行いました。

はじめにアイスブレイクを兼ねて名刺交換の時間をとりました。その後3つのグループに分かれ、それぞれが抱えている悩みなど、日頃働いている中で感じていることを自由に話し合ってもらいました。

年齢も所属も様々で、新人・中堅・ベテラン、それぞれの話を聞くことができ、共感することがあったり、立場によって違う考え方に気づいたり出来たのではないかと思います。

参加した卒業生からも、「働いている環境はそれぞれ違い、悩みも異なっていたが、お互いに悩みを打ち明けられる機会があったことはとても有意義だった。ピアスーパージョンがお互いの相乗効果になったと思う」「県大の卒業生同士でつながる先輩・後輩のあたたかさを改めて感じました」「今後も学内学会で、スーパージョンの場があると良いと思った。また、実践型の演習もしてもらいたい」という声が聞かれました。

今回の分科会を通して、スーパージョンの必要性を再確認し、今後このような機会を持つことが出来れば良いのではないかと思います。参加していただいた皆さん、ありがとうございました。

18期生 横山 恵理

第2部 第2分科会

からだどころをほぐす
「リラクゼーション技法」



第2分科会では、今年度新たに着任された角田憲治先生(健康福祉学研究室)に講師をお願いしました。

今回の講義では、ストレスと運動の関係性をテーマとし、ストレスを抱えるリスクや職場でもできる簡単な体操を教えて頂きました。実際に体を動かしながらの内容だったので、参加者同士、会話が交わながらリラックスした雰囲気でも進めていくことができました。中でも皆さんの注目度が高かったのが、唾液で自分のストレスを測る実演です。専用の機械でストレスを数値化していくもので、参加者全員が実施し、それぞれ意外な数値に笑いが出たり、びっくりしたりと盛り上がりました。計測は、体操前と体操後の2回行い、軽い運動後、数値が実際に下がっている



前回の社会福祉セミナーから在学生の将来のビジョンを明確化するため、講師を卒業生に依頼し、シヨブカフェ

第2部 第3分科会
J O B C A F E



18期生 藤井 優香

るかみてみました。結果は、個人差はありますが、下がっている人のほうが多かったように思います。
今回の講義を通して、日々の生活の中でちよっとした運動を取り入れることでリラックス効果があり、気持ちの切り替えにもなると実感することができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

卒業生にとっては同窓会を、在学生にとっては卒業生との交流の場を、テーマに18期生が中心となって企画しました。限られた時間の中で少しでも多くの関わりが持てるよう、前半はアイスブレイクとして自己紹介ゲームを行い、中盤から後半にかけては立食形式的の食事会としました。
当日は先生方を始め多くの卒業生、在学生に足を運んでいただき非常に盛大な会となりました。私自身も約1年半ぶりに同級生と再会することができ、とても有意義な時間を過ごせたと感じています。社会人となり大学から離れ

学会交流会情報コーナー

9期生 白井 雄生

を実施しています。昨年度は「福祉職」の卒業生が担当されましたが、今年度は「福祉」「行政」「教員」「一般企業」と幅を広げ、多くの卒業生の協力を得て実施しました。これは「どのような分野に就こうと、社会福祉学部で学んだことが活かせる」ということです。飲み物を飲みながら、和やかな雰囲気の中で、在学生はそれぞれ気になる仕事の事、またプライベートの事など、準備してきた質問を積極的に投げかけていました。中には鋭い質問も飛び交い、卒業生は苦笑いで振り返りながら答えていた様子も楽しい雰囲気です。会場を盛り上げました。
シヨブカフェが終了する頃には、各分野で活躍している卒業生の生の声を聴いた在学生は、自分の将来について具体的にイメージすることができたようで、明るい表情であったのが印象的でした。卒業生自身も学生の時の気持ちを思い出し、新たな気持ちで業務に取り組みもうという意識も向上した様子でした。在学生もいずれ卒業生として各分野で活躍して卒業生同士で盛り上げていきたいと思っていました。

タイムスケジュール	
13:00	総会・平成28年度着任教員の紹介
13:30	社会福祉セミナー
	第1部 シンポジウム
	「よりよい職場の人間関係構築と充実ある仕事に向けて～“ストレスやばい!”を改善しよう～」
	シンポジスト 小寺美帆さん(4期生)
	高津典枝さん(15期生)
	阿部友亮さん(18期生)
	西山善浩さん(6期生)
	司会 宮崎まさ江准教授
	コーディネーター 横山 正博教授
15:15	第2部 分科会
	第1分科会
	「帰る頃には元気が出るはず～同窓生スーパービジョン～」
	講師 増田 公香教授
	司会 横山 恵理さん(18期生)
	第2分科会
	「からだところをほぐす～リラクゼーション技法～」
	講師 角田 憲治講師
	司会 佐々木数馬さん(12期生)
	第3分科会
	「JOB CAFE」
	進行 白井 雄生さん(9期生)
	福祉分野 中 昭子さん(2期生)
	浅川 恵美さん(13期生)
	中川明日香さん(15期生)
	作間 友樹さん(18期生)
	一般企業 中野 愛さん(17期生)
	山崎はるかさん(18期生)
	教員 石田 千鶴さん(17期生)
	行政 榊重 尚敬さん(13期生)
	中村 晴佳さん(19期生)
16:30~18:30	交流会

学部教員からのコメント

18期生 内田 雅之

今回初めて、当学会へ参加いたしました。OB・OG、学生、教員間での活発な議論や情報交換がなされており、年一回こうして集まることの重要性をあらためて認識いたしました。時より出てくる県大ネットワークという言葉に、本大学、本学部の結束の強さを感じました。今後県大ネットワークがより強固なものとなるよう、共に本学会(懇親会含む)を盛り上げていきたいと思っております。

角田 憲治





学部教員の活動

一古民家でコミュニティ・カフェー

加登田 恵子

5年前に、ひよんなことから、大学からそう遠くない市内に、築200年ほどの古民家とご縁ができました。前の住人は、何と103歳のお祖母様でしたが、その地区も高齢化が深刻で、大きな家に閉じこもり気味の方が多いのです。そこを「樹庵」と名付けて、定年までにポチポチ準備をと思っていたのですが、地域に住む農業のお師匠さんや、古民家が好きなお店の方や、お隣の陶芸家やら、有機農業に関心のある友人等々、ご近所の方などの輪が急速に広がって、コミュニティ・カフェもどきの活動が始まりました。

私自身は公務多忙のため、ときたま草刈りに行くくらいですが、高齢婦人のグループが手芸づくりや菜園の手入れをしたり、年に1回は、お祖母様が近所のお嫁さんに教えたという方法で味噌づくりをしたり、自分たちの作品の展示会をしたりと、小さいけれど地域に開かれたお楽しみ会を続けておられます。時々、「子ども会」がお餅つきをしたり、時にはプロを呼んでコミュニティ・コンサートを開いたりしています。関わっているNPOの



子ども達が芋掘りにもやってきましたし、海外からのお客様が宿泊することもあります。山口の可能性を感じる日々です。



大学院の紹介

働きながら学ぶ、社会人のための大学院

健康福祉学研究科 健康福祉学専攻
博士後期課程1年 山根 千絵
(社会福祉学部10期生)

みなさんは大学院と聞いてどんなイメージを持ちますか？ 以前の私は、「大学院＝賢い人が勉強するところ」と捉えており、無縁の場所だと思っていました。そんな私が今、大学院生として福祉現場で感じている問題や課題と向き合っています。

私は学部を卒業後、児童福祉施設に勤め、たくさん子どもやその家族と出会いました。多くの関係者とともにも各家庭のサポートをする中で、子どもと親への支援が切り離して考えられ、親への支援を優先するあまり子どもたちに不利益が生じてしまう場合があることに疑問を感じていました。そこで、家族支援の方法について学びを深めたいと思い、社会人として大学院へ進学することを決めました。

大学院では現場で直面する問題について追究し、深化させることができるため、双方に活かせることから、とても有意義な時間を過ごすことができます。また、「看護」「栄養」「社会福祉」の領域の複数教員から少人数体制のきめ細かい指導を受けることが可能です。在学生の専門領域や年齢も様々

で、ともに学ぶ中でとても刺激を受けます。ともに学ぶ仲間との存在と、授業や研究に取り組む中で、現場で抱える問題に関する手がかりがつかめた時の喜びやワクワク感が原動力となり、仕事との両立が大変な時も励みになっています。



学生生活を通して、大学院は特別な場所ではなく、自らが捉える問題や課題について追求するための方法を学ぶ場所であり、研究を通して問題解決方法を見つけることができる場所ではないかと感じています。先生方のサポートはもちろんのこと、昼夜開講制や長期履修制度など、働きながら学べる環境も整っているため、多くの方に大学院で実り多き貴重な時間を過ごしてもらいたいと思います。





学会員活動助成事業報告

平成28年度は1グループの活動に対し、助成を行いました。活動報告をご紹介します。

社協ワーカー自主勉強会

～罪を犯した人の社会復帰を支えるために～

14期生 古富 真

平成28年4月23日、山口県セミナーパークにて県内の市町社協で働く若手の社協ワーカーのスキルアップを図るために勉強会を開催しました。勉強会では、山口県立大学社会福祉学部を卒業後、山口県社会福祉協議会で働いている遠藤嵩大さんに講師となっただき、地域生活定着促進事業についての概要説明と事例検討を行いました。

地域生活定着促進事業を一言で説明すると、高齢又は障害により福祉的な支援が必要と認められた非行・犯罪行為をした人の社会復帰に向けた支援を行う事業です。山口県においては、県域に福祉関係機関とのつながりを持ち様々な地域福祉課題に取り組む団体である山口県社会福祉協議会が

平成21年7月より山口県から事業を受託しています。

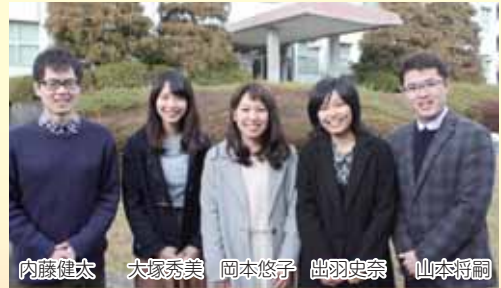
事例検討では、服役を終えて刑務所から引っ越してきたが頼りにする人がいない人の社会復帰について、社協の立場からの支援方法をグループ討議しました。特技を活かした活躍の場づくり、当事者同士の組織化、地域住民に対する更生保護の啓発活動等の支援方法が意見として挙がりました。

今回の勉強会を通じて、地域生活定着促進事業についての理解を深めることができたとともに、罪を犯した人の地域移行について考える大変良い機会となりました。今回の学びを各自の仕事にしっかりと活かしていきたいと思います。



新 卒業生幹事のご紹介

皆さんはじめまして。私たちが20期生の幹事です。山口県立大学で毎年行われている、学内学会を運営していきます。学内学会は、先生方、卒業生、在校生が交流し、つながりを深めることのできる、とても素敵な場です。私たちは、そのような学内学会を皆さんにとって充実したものできるように尽力していきます。よろしくお願い致します。



内藤健太 大塚秀美 岡本悠子 出羽史奈 山本将嗣

新任教員 紹介

よろしくお願い致します。



教授 前田 哲男

本学の生活科学部(当時は家政学部)に着任したのは平成5年になります。生活科学部の学生募集停止後地域共生センターへ移動し、大学の地域貢献活動として、公開講座等の企画と運営を担当してきました。建築士によるハードの住環境整備が専門になりますが、パートナーシップの住まい・まちづくりの推進が研究テーマです。この仕組みを実現するための哲理を探求したいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



講師 角田 憲治

これまで、運動を通じた介護予防や生活習慣病予防に関する研究と、障がい者アスリートの競技支援に関する研究を行ってきました。授業では、健康づくりとしての運動の重要性と、運動の楽しさ・魅力について伝えていきたいと考えています。また、研究の一環として、学生とともに、地域で介護予防運動教室や住民運動ボランティアの養成を行い、県民の健康増進に貢献したいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。



准教授 横山 順一

本年度より児童福祉担当の教員として着任いたしました。これまで、行政職員、社会福祉法人職員、短期大学教員を経験してきましたが、山口県立大学での新たなスタートを嬉しく思っています。

私は福岡県北九州市で生まれ育ち、現在も同市から通勤していますが、今後、山口県の地域の皆様との関わりが広がっていくことを楽しみにしております。

子どもや子育て家庭を取り巻く課題はとて多い中、社会全体で子ども・子育てを支える取組をどのように広めていけるかを考察していきたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。



講師 永瀬 開

2016年4月より、心理学I研究室の教員として着任いたしました。学生たちから日々パワーをもらいながら、教育、研究を行っています。これまでは、発達心理学の分野で、発達障害児の心理特性や思春期・青年期における自己理解、他者理解について研究をしてきました。社会福祉学部でも自分が研究を通して学んできたものを伝えていきたいと思っています。





去年8月に同窓会を行いました。連絡が遅くなり、7人しか集まることができませんでしたが、久しぶりに大学時代の友人と会う

ことができ、大学時代に帰ったような気持ちになりました。仕事の話で盛り上がると、社会人になり以前よりかは大人になったのだと実感しました。社会人の大変さや苦勞だけでなく、楽しさや嬉しさを共有することができ、とてもいい時間になりました。来ることができなかった同級生も含めて、それぞれの道を頑張っているのだと思うと、自分もより頑張っていかなければいけないと感じた同窓会でした。

（19期生 南波 航希）

同窓会情報コーナー

このコーナーでは、今年行われた同窓会情報をお伝えします。あなたの身近でも同窓会の開催報告や開催の予定があれば、ぜひ情報をお寄せください。

第18回 総会承認事項

平成27年度事業

- 1 総会・セミナーの開催（平成27年8月8日）
- 2 Newsletterの発行（平成27年3月16日）
- 3 卒業生の国家資格取得支援事業

平成28年度決算

【収入の部】		【支出の部】	
繰越金	2,668,723	事務費	10,473
会費	587,000	役員費	110,422
印税	8,982	事業費	658,591
事業費	71,900	セミナー運営費	100,982
寄付	16,272	幹事会費	54,588
利息	521	計	935,056
計	3,353,398		

繰越 2,418,342円

平成28年度事業

- 1 総会・セミナーの開催（平成28年8月6日）
- 2 Newsletterの発行（平成29年3月15日）
- 3 卒業生の国家資格取得支援事業
- 4 学会員活動助成事業
- 5 実習指導者講習会受講料助成事業

平成28年度予算

【収入の部】		【支出の部】	
繰越金	2,418,342	事務費	40,000
会費	606,000	役員費	130,000
印税	8,000	事業費	217,000
事業費	62,500	セミナー運営費	170,000
寄付	15,000	幹事会費	150,000
利息	500	計	707,000
計	3,110,342		

山口県立大学社会福祉学部 社会福祉学会事務局からのお知らせ

卒業後、社会福祉士、精神保健福祉士に合格された方、お名前やご住所などが変わられた場合は、事務局までご一報ください。

〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1
山口県立大学社会福祉学部 ソーシャルワーク実習
開発室内 社会福祉学会事務局
TEL：083-928-4783 FAX：083-928-3547
E-mail：sw-gakkai@yamaguchi-pu.ac.jp
URL：http://www.yamaguchi-pu.ac.jp/gakubu/
fukushi/gakkai.html

第19回総会および 社会福祉セミナーのご案内

日時：平成29年8月5日(土) (予定)
13:00~18:00

詳細は決まり次第、お知らせいたします。
卒業生の皆さまのご参加をお待ちしています。

